



トマトの下処理

9月20日(水)、21日(木)に中里中学校の生徒たちが職場体験を行いました。

小寺駿平くん、成田魁くん、中谷翔くんの3人は、アクトプラン内にある調理室で材料であるトマトを洗浄、ヘタの切り取り、果肉・種の部分に分ける作業を、素早く丁寧にこなしていました。生徒たちは「大変だが、達成感がある」、「苦勞する仕事だが、楽しいと思う」などと少し照れくさそうに話していました。

真剣な彼らを見て、同じ時期に、同じ地域で職場体験をしている者同士、少しでも中泊町の役に立ちたいと思いました。

三上遼大くん、秋元健造くん、藤本卓磨くんの3人は図書館、博物館で仕事を体験し、「仕事をするという事は大変だと思った」と、いつも仕事をしている親の凄さを痛感していました。

本にカバーをつけるなど、いろんな作業を先輩の言うことをしっかりと聞き、集中して取り組んでいました。仕事をしている生徒からは楽しさが伝わってきました。



本にカバーをつける作業



子どもたちとの触れ合い

鈴木詩乃さん、宮越咲空さん、加藤真那さん、古川楓夏さん、中村真実さんの5人は、子供たちとブロックやボールなどの遊び道具などを使って遊んだり、絵本を読んであげたりしていました。

笑顔で子どもたちと会話をしたり、遊んでいてとても賑やかで楽しい雰囲気でした。

生徒たちは、「大変だけど楽しい」「知らない遊びがたくさんあった」などと笑顔で話していました。

## 仕事というものに触れて

木造高校の生徒が  
職場体験

木造高校の久保田翼くん、小山内清隆くん、升田柊くん、古川菜南子さん、山田美来さんの5人が、9月20日(水)から22日(金)までの3日間、町役場や施設などで職場体験を行いました。

町役場では、広報係での広報の裏表紙作成や図書館などでの取材、写真撮影などを行いました。また、水産商工観光課では、中泊町の観光地視察や新パンフレットの作成などを行いました。

広報係を体験した久保田くんは「この3日間で様々な場所に行き、たくさんの体験をすることができた。これからの自分の進路や将来に活かすようにしたい」と話していました。

水産商工観光課を体験した古川さんと山田さんは「パンフレット一枚に魅力をうめこむのが大変」「イベントを考えるのが大変」と話していました。



イベント立案



町長へあいさつ



記事作成

このページは、木造高校の久保田翼くん、小山内清隆くん、升田柊くんが作成しました。

